



大分の青少年

令和4年度 大分県青少年健全育成大会

11月11日(金)にトキハ会館ロースの間で、令和4年度「大分県青少年健全育成大会」を新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて開催しました。

この大会は、青少年育成県民運動の一層の高揚を図るため開催するもので、青少年健全育成に功績のあった団体・個人の皆様に、吉田副知事より表彰状が授与されました。

続いて、少年の主張大分県大会で最優秀賞を受賞した小野 空さん（九重町立このえ緑陽中学校3年）に、「音を楽しむ」の演題で、一人一人の違う音を合わせて初めてハーモニーが響く吹奏楽を通じてチームプレイの大切さを学んだ経験について、堂々と発表いただき、大きな拍手が寄せられました。



吉田副知事の挨拶



小野 空さんの発表

続いて、学校法人立花学園 立花高等学校校長の齋藤 真人氏より、「『いいんだよ』は魔法のことば～寛容の精神が醸成される社会へ～」と題して、不登校を経験した生徒の自立支援の取組を踏まえ、子どもたちが安心して個性を発揮できるよう、大人達が「おおらか」であること、そのために必要な「共感的理解」について共に考える内容の講演が行われました。参加者からは、「自分の価値観がゆさぶられる講演内容だった」「子どもの頑張りをただ認めることの大切さを知った」などの声が聞かれました。



表彰の様子



齋藤 真人氏の講演

大分県青少年育成県民会議会長表彰

■ 青少年団体の部（1団体） ■

- ・別府市子ども会育成会連合会 ジュニア・リーダースクラブ

■ 保護育成団体の部（2団体） ■

- ・東飯田地区青少年健全育成協議会
- ・手づくり人形劇団「つくしんぼ」

■ 保護育成者の部（4名） ■

中津留 弘様 荒金 見治様 佐藤 亨様 衛藤 公臣様



受賞者の皆様

発行：大分県青少年育成県民会議・大分県

（大分県大分市大手町3-1-1 大分県生活環境部私学振興・青少年課内 TEL 097-506-3076）

ホームページ： <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13255/seisyounenikuseijigyo.html>

Facebook：

大分県青少年育成県民会議

検索

Email: oita.patrol@gmail.com



子ども若者育成支援強調月間の取組



「県民総ぐるみあいさつ運動」



県庁舎への横断幕の掲示により、強調月間の啓発を行いました。

11月は『子ども若者育成支援強調月間』です。

大分県青少年育成県民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の一環として「県民総ぐるみあいさつ運動」に取り組んでいます。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大分市中心部でのあいさつ運動は中止し、中津市で行われた「おおいた教育の日」推進大会の会場入口でのあいさつ運動や、各市町村ごとに啓発活動に取り組んでいただきました。

あいさつは人と人をつなげる大事な出会いの言葉です。県民会議では、子どもたちの社会性を育み、子どもたちは地域で守り育てるという意識の高揚を図るため、毎月第3金曜日の「青少年の日」を中心に県下であいさつ運動に取り組んでいます。



11月1日
「おおいた教育の日」
推進大会
あいさつ運動

(県民会議事務局・
チャイルドライン
おおいた)



11月18日
街頭あいさつ運動
(津久見市)

「大分県少年の船」陸上研修 「少年の船の家2022」

県では、青少年健全育成の一環として、毎年「大分県少年の船」を運航しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により沖縄への運航を中止しましたが、子ども達に体験活動の場を提供するために香々地青少年の家で10月8日～10日、2泊3日の「少年の船の家2022」研修を実施しました。県内各地から小・中・高校生約100人が集まり、班ごとに協働して行う様々な体験活動に取り組みました。

中高生が小学生団員に寄り添い、集団を支える姿を小学生が見て育ち、中高生は大人に支えられながらリーダーシップを身につける異年齢集団の学びの場が少年の船の醍醐味です。

今年は1泊増やしたことで、地引網や海鮮バーベキューなど内容を充実させることができました。

参加者からは「学校や家庭では体験できないことができ、特に地引網でみんなと協力して捕った魚は最高に美味しかった」保護者からは「様々な地域や学年の生徒や大人と心を通わせ、経験したことのない体験等を経験させてとても良かった」などの感想が聞かれました。

今年は、中高生の班長・副班長や青年リーダーとの事後研修会も対面で実施できました。当日の活動（事前・本研修）で終わらず、じっくりとフィードバックを行えたり、交流の機会をもつことができ充実した研修となりました。

地域や世代を越えて課題に向かって活動を共にした子ども達が、この研修の経験を経て、今後様々な場所で活躍できることを期待しています。



県産食材を使ったカレー作り



夕日を見ながら食べるカレー



地引網



海鮮バーベキュー



県知事との意見交流



キャンドルのつどい



涙のお別れ会



事後研修会

県民会議加盟団体の活動

大分県社会教育委員連絡協議会 問い合わせ先 097-506-5556(大分県社会教育課)

大分県社会教育委員連絡協議会は、県市町村の社会教育委員の連携協力を図り、県内の社会教育の振興発展に寄与することを目的として、県及び県内市町村の社会教育委員で構成された団体です。

社会教育委員は、学校教育関係者や社会教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行っている方々や地域において社会教育に優れた知見をもつ方々で、教育委員会から委嘱され活動しています。

当団体の活動としては、研修会の開催・情報発信・調査研究などを行っており、毎年県内の社会教育委員活動の報告や調査結果等を収録した会誌も発行しています。

今年10月には、大分市のJ:COMホルトホール大分にて、第52回九州ブロック社会教育研究大会大分大会を『「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～』をテーマに、九州各地から社会教育委員や社会教育関係者約500名の当日参加と200名のリモート参加で開催しました。大会では、地域の持続的発展に向けて、地域の子どもの健全育成や地域の文化の継承等について協議し、子ども達の育成の大切さや社会教育の重要性について、改めて考える機会を設けることができました。



九州大会全体会



九州大会分科会

J:COM 大分ケーブルテレコム株式会社 管理本部 地域貢献グループ

問い合わせ先 097-542-1121

当社では2019年に地域に対しての社会貢献活動強化を目的とした「地域貢献グループ」を発足しました。主な活動は、地域に目を向け地元で根差した社会貢献活動を企画・実施していくものです。

活動例として、警察と「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結。地域防犯の目となるよう社用車90台にオリジナルの「こども110番」ステッカーを貼り、県全域で「見える・見せる防犯活動」を実施しています。そのほかにも「子どもたちが豊かに長く住み続けられる街づくり」を目的に、地元保育園や企業2社と共同で農園を運営。季節ごとに数種類の野菜を育て、地元フードバンクへ寄付し、こども食堂等で活用していただいています。

J:COM 大分ケーブルテレコムでは、当社のサービスや技術・ノウハウを積極的に活用し、地域との共生・社会への貢献を大切に、今後も活動を継続してまいります。



防犯 社用車



農園プロジェクト

大分県立看護科学大学

問い合わせ先 097-586-4300

大分県立看護科学大学は、「看護を通して生きることを支え、豊かな未来を創造することができる看護職」の育成を目指しています。2013年に文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」として「看護学生による予防的家庭訪問実習を通じた地域のまちづくり事業」が採択されたのを契機に、予防的家庭訪問実習を始めました。2015年から全学年の必修科目となり、8年目を迎えます。

本実習では1～4年生各1名の4人で学年縦割りのチームを構成し、大学周辺にお住まいの70歳以上の高齢者(以下、協力者)の自宅を、年間7～9回訪問します。学生は協力者の趣味の活動と一緒にいたり、地域の様子やこれまでの経験についてお話を聴かせていただきながら、協力者の生活や健康について考察し、健康な在宅生活を維持するための方法を一緒に考えます。本実習を通して、学生は高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることについて、考え、学びを深めています。また、協力者の皆さんは学生の訪問を、若い世代とのふれあいの機会として楽しみにし、交流を通して健康意識を高めてくださっています。

近年、看護職の活躍の場は病院などの施設にとどまらず、地域へと広がっています。今後も本実習を通して、地域での生活に目を向け、健康とその人らしい暮らしについて考え、看護を創造できる看護職の育成に取り組んでまいります。



担当教員を交えた
訪問前カンファレンス



協力者宅での血圧測定

市町村民会議の取組

大分市 (大分市青少年健全育成連絡協議会)

大分市には、65の地区・校区青少年健全育成(連絡)協議会があり、「大人が変われば子どもも変わる」、「地域の子どもは地域で守り育てよう」との基本理念に立ち、豊かな体験活動の場の提供や有害環境の浄化活動、地域の安全確保に向けた「すこやか大分っ子サポートパトロール」等を実施し、子どもたちが安心して暮らせる街づくりを目指して様々な活動に取り組んでいます。

毎年、11月に実施される大分市青少年「夢ふれあい」交流集会・大分市社会教育振興大会を青少協の研修会に位置付け、社会教育関係団体等との情報交換や、多世代との交流を通して、青少年の健全育成に関する意識の高揚を図っています。

今年度は、子ども神楽や空手道、中学生リーダー交流研修会に参加した生徒等の発表があり、交流活動では「地域における青少年の参画」について各世代の代表者がパネリストになり意見交流を行いました。



子ども神楽



交流活動の様子

「中学生・高校生地域リーダー育成研修」参加者募集

君の力で 地域を変える！未来が変わる！

期 日: 令和5年1月22日(日) 9:15~16:30

会 場: 天ヶ瀬公民館・天ヶ瀬温泉街フィールドワーク

※大分駅・別府トキハ店から会場まで(往復)は無料貸切バスを運行します。

※抗原検査キットを配布するなどの感染対策を実施します。



前回のフィールドワークの様子

【テーマ】「それでも川が好き」に込められた
天ヶ瀬の人々が描く「物語」とは



〈応募について〉
県内在住の中高生 40名程度

申込締切: 令和5年1月4日(水)



〈お問い合わせ〉

大分県青少年育成県民会議(大分市大手町3-1-1)

TEL:097-506-3088 FAX:097-506-1745

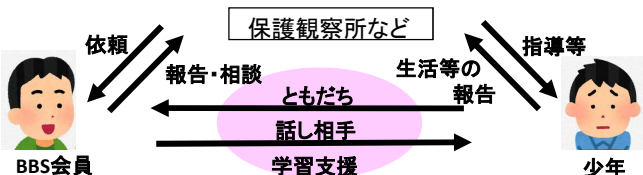
BBS会に入りませんか？

BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの略称で、県内に6地区約130名(うち大学生約80名)で組織された青少年ボランティア団体です。非行少年等と同じ目線で、いわば「兄」や「姉」のような立場で接することで、多くの少年たちの立ち直りを支援しています。

このような活動をしています

ともだち活動

兄や姉の目線に立って、非行少年達の話し相手、相談相手となって、少年の成長や悩みの解消を手助けしています。



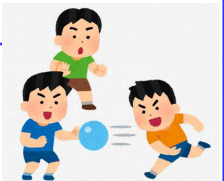
社会参加活動・社会貢献活動への協力

保護観察所と協力し、少年たちと共に清掃活動などの様々な活動に参加しながら、社会や誰かの役に立つ喜びを分かち合っています。



グループワーク

少年たちとグループになってスポーツやレクリエーションなどを行います。ともに何かを楽しむことにより、少年たちに一人ひとりの時とは違った共感や、心を開ききっかけを与えます。



非行防止活動

様々な広報活動や各種イベント、集会などを地域で実施し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に努めています。

- 入会に特別な資格は必要ありません。
- BBS会の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも参加することができます。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 TEL097-532-2053

